

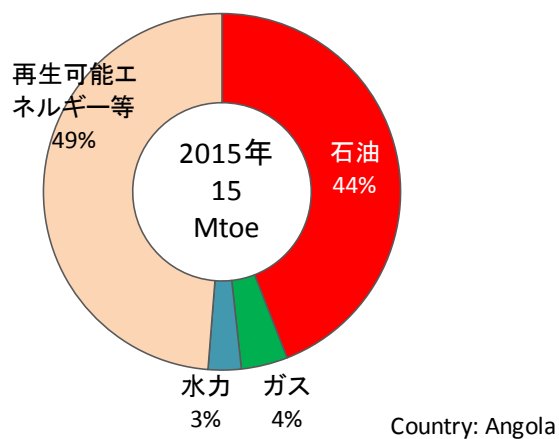
5-7 アンゴラ

1. サマリー

1. エネルギー事情

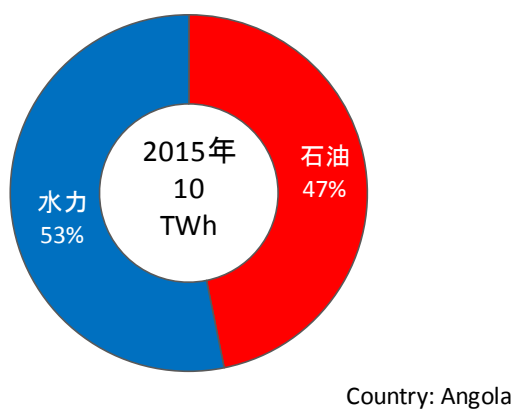
- (1) 一次エネルギー供給量 (2015年) : 15 百万 toe (日本の 0.03 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2015年) : 0.60toe (日本の 0.18 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2015年) : 667%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 20.4 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 1.8%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 0.80 CO₂ 換算 ton (日本の 8.9%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016 年末) : 原油 17.5 年、天然ガス N.A.

一次エネルギー供給構成 (2015 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電電力量構成 (2015 年)



(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- アンゴラには、鉱物資源・石油省とエネルギー・水資源省がある。
- 石油資源に関しては 1978 年設立の国営石油会社 (Sonangol) が、外資と共同で原油・天然ガス開発を行うかたわら、規制機関としての役割も務めていたが、2016 年 4 月末に Sonangol は開発に専念し、新しく設置される最高評議会 (Supreme Council) が大統領への報告とともに規制機関としての役割を果たすこととなった。
- 電力に関しては、エネルギー・水資源省所管の下、1980 年設立の国有電力会社 (ENE) が発送電を一貫して行なっていたが、2014 年に ENE は廃止され、発電・送電・配電を管轄する 3 つの公社が新たに設立され、電力事業を担当している (発電: PRODEL、送電: RNT、配電: ENDE)。

(2) 基本政策

- 2013 年、政府は国家開発 5 カ年計画 (2013-2017 年) を発表した。非石油部門を積極的に育成し、外資導入や脱官僚・行政の簡素化等により鉱物資源開発、製造業、農業、観光等のサービス産業の育成に力を入れる方針である。
- 随伴ガスも現在焼却処分しているガスを LNG として輸出すべく、パイプラインの建設ならびに LNG 基地建設の計画を進め、石油と合わせて国家歳入を拡大する計画である。
- アンゴラ政府は、原油生産能力の拡大のみならず、石油製品の輸入削減、自製化を進めるべく、製油所建設も目標としている。

(3) 最近の動向

- 2017 年 3 月、大統領令により、ロシアの合弁企業である NAMREF によって、Namibe 州に新たな製油所が建設されることが決定した。
- 2017 年 9 月、38 年間にわたり大統領を続けた Dos Santos が退任となり、新たに João Manuel Gonçalves Lourenço が 3 代目アンゴラ大統領に就任した。
- 2017 年 11 月、João Lourenço 大統領は、前大統領の娘で 2016 年 6 月に Sonangol の CEO に就任していた Isabel dos Santos を解任し、元 Sonangol 幹部の Carlos Saturnino を新たに CEO に就任させた。併せて、Sonangol の経営陣も刷新した。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 我が国の対アンゴラからの原油輸入は 2015 年度の 59.5 万 k1 であったが、2016 年度は輸入が無かった。石油製品の輸入は 2015 年度にナフサを 9.3 万 k1 輸入したが、2016 年度は輸入が無かった。
- 我が国の対アンゴラからの LNG 輸入は 2014 年 4 月入着 (6.3 万 ton) から始まったが、アンゴラ LNG 出荷設備のトラブルで、その後の輸入実績は無い。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: Angola

(2015年)

(1) 一次エネルギー供給量		15 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		0.60 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.14 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		667 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量		20.4 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量		0.80 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	0 %
	石油	44 %
	天然ガス	4 %
	原子力	0 %
	水力	3 %
	再生可能エネルギー等	49 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-567 %
(9) 石油の輸入依存度		-1,286 %
(10) 輸入原油の中東依存度		- %
(11) 原油の輸出先	第1位	中国
	第2位	インド
	第3位	米国

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(11) : PIW TOP 20 Crude oil Exporters/Importers